

これまでの主なご意見等

現在までの意見聴取状況

各ブロック毎に各々2回の有識者会議を開催

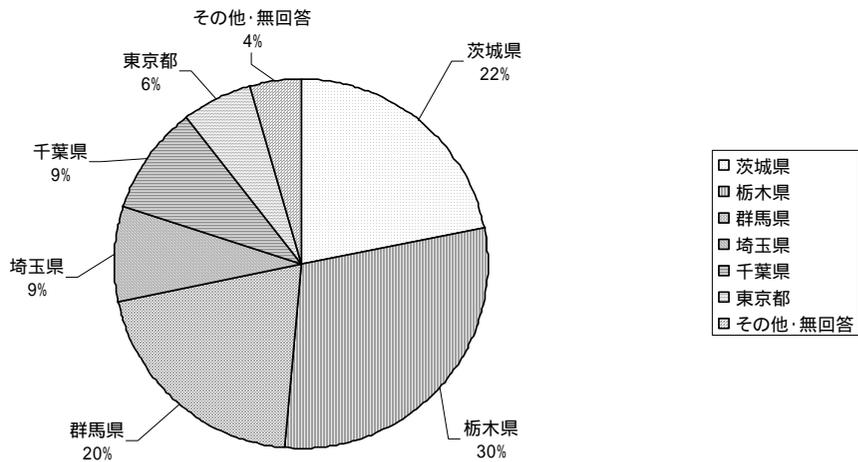
インターネット・はがき等による意見募集(313件)

公述人の募集(119件)

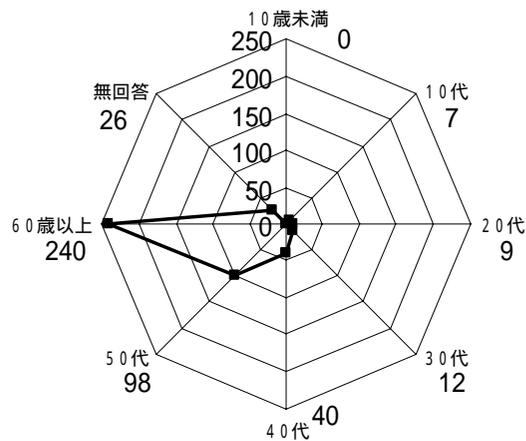
関係市区町村からの意見聴取(87件)

意見の詳細は「意見募集に寄せられた意見等」のとおり

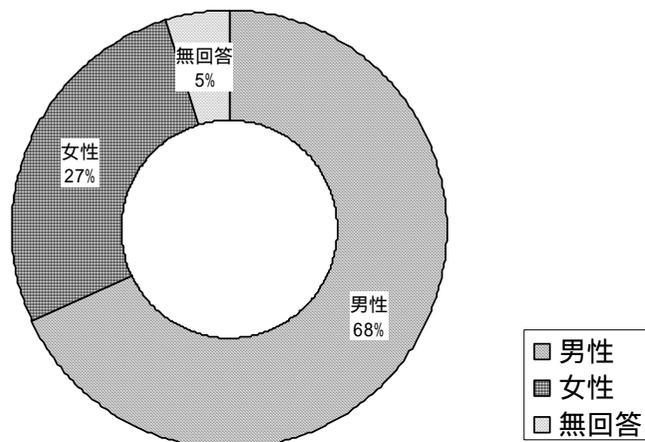
<参考> 関係住民よりの意見の状況(432件)



年代別



性別



【関係住民の意見聴取の考え方】

- ・公聴会、インターネット等では手順が少し足りないのではないか。
- ・地域住民、市民団体の人が議論に参加できる場をつくった方が良いのではないか。
- ・会議で傍聴者の意見を聞く場面を設けるか、別途の場を設けることが必要だと思う。
- ・議論を行う前にパブリックコメントをとるとか住民の意見を把握する方法論を考えるべきではないか

【利水】

- ・利水に関しても計画の目標年度の設定があっても良いのではないか。

【印旛放水路】

- ・印旛沼の事業については、農水省の事業との調整が必要である。

【治水安全度】

- ・上下流のバランスをどのように図るのが見えてこない。どのような順序で合理的に実施していくのかを説明する必要がある。
- ・1/30、1/50の治水安全度は高くない、早急に対応する必要がある。調査の必要なものもあることを記載する必要がある。
- ・1/30、1/50をもう少しわかりやすい説明が必要である。

【堤防強化】

- ・河川整備の進捗と河道内の樹木の繁茂により、洪水の伝わる速度が落ちてきた。大事なのは堤防をどうするかである。洪水時間が長くなり堤防に浸透する時間が長くなると、堤防の安全性が低くなる可能性がある。堤防の安全性確保をどのように考えるのか、検討してほしい。

【環境】

- ・植生や水質など、こういった環境を再生するのか。メニューが、環境の目標にどのように貢献するのか、わかりづらい。
- ・整備計画の環境目標に対して、整備メニューの目標は、その下のランク。河川のイメージと目標、実施すべきメニューなど、十分に整理を行うべきではないか。
- ・縦断的な生息環境の保全ということに対して、堰の魚道整備のみに目標が矮小化されてしまっており、もう少し大きな視点で目標を設定してほしい。
- ・治水工事と環境は相反することがある。工事のやり方によって、環境は変わってしまう。これまでの地先の環境に関する議論をどのように反映するのか、位置付けるのか、整理してほしい。

【関係住民の意見聴取の考え方】

- ・大きく前進している印象がある。実際に、どこまで意見が採択されるのか、どういう判断で採択されないのか、どのような説明がなされるのか期待している。
- ・住民団体の意見書について、有識者の見解を披露する必要がある。

【閲覧資料について】

- ・パイピングが基礎地盤のみに記述されているが、堤体自体もあるので、正確な表現が必要である。
- ・治水が重点となり、利水・環境は配慮というレベルとなっている。人為的な整備を検討する必要があり、総合的な記述が必要。具体的には、治水目的で位置付けられている遊水地や調節池を湿地生態系再生の場として位置付けて欲しい。
- ・環境に配慮した河道掘削の資料は、わかりやすい反面、単純化しすぎている。実施に際しては、背景にいろいろな取り組みや成果等があるので、記述の精査が必要である。

【その他】

- ・環境について、20～30年後の目標があって、その下に当面のメニューがあるという枠組みが必要である。
- ・環境対策と治水対策が別であることは問題である。水系全体の生態系がどう改善されるのかという目標が必要である。環境は数値で表現しにくい、目標を提示することが大切である。
- ・河口堰によりシジミやハゼが採れなくなったという声を聞いた。施設の運用をうまく具合にできないのか。
- ・上流のシジミがいなくなったのは、汽水域でなくなったためであることは明確。下流は様々な要因がある。貝にとっては浮泥が大きなポイントである。堰の操作運用により浮泥をどうコントロールするかで、貝の生息も変わる可能性に期待している。
- ・国レベルの水域や干潟の再生目標数字があるので、それをこのレベルでどう受けるかを考えて欲しい。
- ・環境において長期的な目標と短期的な目標がある。利水も同様。国交省の所管の中でできる内容という枠が整備計画の限界。国交省としてできる部分とできない部分の説明が必要である。
- ・技術論が先走っていて、理念的なものがない。何故、守らなければならないのかが出ていない。技術論の前に、理念の議論が必要である。
- ・何故、本川の治水安全度をあげる必要があるのか、という説明・理念に関わる部分をもっと主張すべき。既存施設の有効活用もしかりである。
- ・首都圏の堤防を重視するという考え方は治水を考えれば当然だが、これまで出せなかった。なぜ、治水思想の大転換を行えたのか、行うのか、説明が必要である。
- ・技術論はしっかりとさせておかないといけないと考えている。理念を検討する前に、技術として、何ができ、何が課題であるか、明確にすることは大切である。
- ・治水の安全度が低いものに対し、どうするのか、環境と比較するに際し、治水の持っている安全性はどうかは重要である。治水の安全度がある程度確保されているところとは、議論は別である。
- ・議論・検討を行うフローチャートを示し、どこを検討しているのか、議論するのか、ステージが分かる整理が必要である。

住民意見の概要(インターネット・はがき等、公述希望届出書の意見)

利根川・江戸川ブロック

カテゴリ	意見の概要
治水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年関東地方では大規模災害が発生していないため、安全との認識(誤解)を持った人が多い。 ・ 治水対策を最優先として事業の推進を要望。 ・ ハツ場ダム事業の建設反対。 ・ 思川開発事業(南摩ダム事業)の建設反対。 ・ 湯西川ダム事業の建設反対。 ・ 下久保ダムの再編には賛成できない。 ・ 渡良瀬遊水地の湿地再生の推進を要望。 ・ 渡良瀬遊水地第2調節池の掘削に賛成。 ・ 渡良瀬遊水地第2調節池の掘削に反対。赤麻沼の復元工事を要望。 ・ 自然環境保全の観点から稲戸井調節池の大規模掘削に反対。 ・ 田中調節池の越流堤は早急に整備(移設)してほしい。 ・ 田中調節池の越流堤の移設反対。 ・ 利根川下流部の新放水路建設反対。 ・ 高規格堤防の整備推進を要望。
利水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境の視点から水利権(ハツ場ダム等を含む)を徹底的に見直すべきである。 ・ 霞ヶ浦導水事業の建設反対。
河川環境に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川環境の整備と保全を整備計画に明確に位置付けてほしい。 ・ 「新生物多様性国家戦略」の整合性の要望。 ・ 現状把握のための生態系調査の実施及び公表の要望。 ・ 重要な野鳥の生息地の保護・保全の要望。 ・ 魚類のためのダムの放流方法の改善を要望。 ・ 魚類のための河川横断工作物の改善を要望。 ・ 烏川調節池計画の立案の際には、生態系(特に鮎)に関して特段の配慮をお願いしたい。 ・ 利根川河口堰の魚道機能及び運用の改善要望。 ・ 水質改善に配慮されたい。 ・ 北千葉導水による手賀沼への浄化水の安定供給の要望。
河川維持に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頭首工など農業用水の水利施設が河床の低下や局地的上昇に悩むなど、河床の管理に関わる問題が発生している。 ・ 河川法占用申請について、より簡便な手続きで許可が下りるようなシステムづくりを希望する。
地域連携・協働等に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域別の災害史・災害メカニズムの情報発信の要望。 ・ 河川敷清掃等にもっと協力していけるような仕組みを考えてほしい。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血税を使って無駄な事業をしないしてほしい。 ・ 流域住民への情報の周知、意見とりまとめについて再考を要望。 ・ 日本の中核が集中するこの重要な地域を集中的に事業を進めていただきたい。 ・ 「より低コストで質の高い事業」を可能にする河川整備計画を策定すべきである。

市区町村長の意見の概要

利根川・江戸川ブロック

カテゴリ	意見の概要
治水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無堤防箇所について築堤を早期に行ってほしい。 ・ 首都圏氾濫区域堤防強化対策事業を早期に実施してほしい。 ・ 堤防強化事業を実施してほしい。 ・ 河川の浚渫を実施してほしい。 ・ 深掘れ対策を実施してほしい。 ・ 内水排除対策に取り組んでほしい。 ・ ダム建設(ハッ場、湯西川、南摩等)について早期に完成させてほしい。 ・ 下久保ダムの容量振替については反対である。 ・ 渡良瀬遊水地、稲戸井調節池等の事業を早急に行ってほしい。 ・ 印旛沼を活用した放水路については周辺地域の治水対策に配慮した計画としてほしい。 ・ 防災ステーション等の災害対応施設を整備してほしい。 ・ 高規格堤防事業を推進してほしい。
利水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水源開発事業を推進してほしい。 ・ 霞ヶ浦導水事業を推進してほしい。
河川環境に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然再生などにより河川環境の整備と保全を行ってほしい。 ・ 樹木を伐採する際は水辺環境の保全にも配慮してほしい。 ・ 渡良瀬川遊水地の湿地環境の保全と再生を行ってほしい。 ・ ワンドなどの多様な水辺、水際の創出とそのネットワーク化を位置づけてほしい。 ・ 河川湖沼の環境整備の促進と水質保全・改善を行ってほしい。 ・ 印旛沼を活用した放水路については水質の改善、水量の回復及び生態系の保全などにも配慮した計画としてほしい。 ・ 河川の水環境の保全整備を行ってほしい。 ・ 利根運河に環境用水を流してほしい。 ・ 人や自然に優しい川づくりに取り組んでほしい。 ・ 水辺の楽校、親水公園等の水辺交流拠点の整備を行ってほしい。 ・ サイクリングロード、遊歩道等を併設した河川環境整備を行ってほしい。 ・ 舟運復活の支援プログラムを位置づけてほしい。
河川維持に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄等のゴミ対策に力を入れてもらいたい。 ・ 洪水時にゴミ等が上流から大量に流れてくるため、ゴミの清掃、環境保全についてより一層のPRを行ってほしい。 ・ 洪水時の堤防巡視等パトロールを強化してほしい。 ・ 安全安心な河川維持管理に努めてほしい。
地域連携・協働等に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水防関係予算を十分に確保すると共に水防組織の拡大強化をはかってほしい。 ・ 住民参加の手法をより多く導き出し、「協働の川づくり」の実現に向けた取り組みに期待します。 ・ 利根川沿川の堤防整備の広大な法面について、市町村等が法面活用を希望する場合は積極的な活用方策検討を行ってほしい。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 背水影響区間を国管理区間としてほしい。 ・ 史跡文化財にも充分配慮してほしい。

【関係住民の意見聴取の考え方】

- ・学識経験者の意見を聴き、その上で一般の意見を聞くという河川法の事務手続きの流れは、時代に少し遅れていると思う。

【利水】

- ・計画を超えるような規模の渇水に対する考え方を示す必要があるのではないか。
- ・渇水の現状についての記述と、整備計画では新たな水資源開発施設を作らないということが相反するのではないか。
- ・渇水に対する記述が少ない。

【環境】

- ・河道内ハリエンジュについては、上流からの種子の供給が問題であるため、指定区間の河川管理者とも調整を図る必要がある。
- ・ハリエンジュは、伐採しても直ぐに萌芽するため、それを考慮した対策が必要である。
- ・ハリエンジュが繁茂した要因の一つは、洪水頻度が低下したためである。草木ダムの操作方法を検討できないか。
- ・親水性の向上を謳っているが、全く利用されていなかったり、自然環境への配慮が足りない事例をよく見る。どのような整備を考えているのか。

【橋梁対策とまちづくり】

- ・橋梁架け替えを行うと、まちづくりや地域住民の生活への影響がある。関係機関との調整をどのように行うのか。

【治水事業全般】

- ・危険箇所の説明とそれに対する整備の必要性を情報公開し、地域住民に理解を求める必要がある。
- ・超過洪水に対する考え方が、河川防災ステーションの整備だけでは足りないのではないか。

【用語等について】

- ・「遊水地」「遊水池」「洪水調節池」「正常流量」などの用語の定義をはっきりしておいてほしい。
- ・「概ね100年に1回」という表現は、超過確率なので正しくない。また、「平均して」という言葉を付け加えた方がよい。
- ・骨子のなかの「飲料に」という表現は、「上水道に」という表現に変えた方がよい。
- ・太田市と桐生市の上水道は、桐生市の方が先に開始されたので、逆の方がよい。

【渇水について】

- ・10%程度の取水制限においては、一般家庭での問題がないから「ダムはいらない」という意見がでてくる。市民の実感と河川管理者の立場を丁寧に説明した方がよい。
- ・渇水に対する対応は利根川水系全体の高い視点から考えてほしい。
- ・渡良瀬川は草木ダムしかないので、草木ダムを温存する方向で考えなければいけない。

【水質事故、有害物質について】

- ・渡良瀬川では、以前にカドミウムやヒ素が検出され、桐生市水道が取水停止したこともある。近年の状況はどうなっているのか。水道原水で検出された場合、情報は伝達されてくるのか。
- ・渇水時に草木ダムで貯留している水を放流すると、カドミウムやヒ素が流れ出す危険性がある。水機構で過去に検討しているので、調べておいた方がよい。
- ・魚のへい死があった場合、直ぐに現場で死んだ魚を見ると原因物質が特定できる場合がある。直ぐに現場に行ける人材（モニター）の育成とマニュアルを整備してほしい。

【草木ダムの水質保全対策について】

- ・草木ダムのカビ臭の問題を記載すべきである。対策を行ったことで問題が解決したという認識か。

【河道内樹林について】

- ・外来植物が定着するのは土木工事などの人為的攪乱と考えている。伐採や砂・シルト除去などの人為的攪乱により別の外来種がさらに増える危険がある。意見交換をしながら進めてほしい。

【環境整備について】

- ・環境整備は、地域住民の意見を聴きながら進めてほしい。

住民意見の概要(インターネット・はがき等、公述希望届出書の意見)

渡良瀬川ブロック

カテゴリ	意見の概要
治水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡良瀬川の堤防はよく整備されている。 ・ 高水敷に水がのると不安になる。 ・ 草木ダムができてから洪水の心配はない。 ・ 赤岩付近は河道が狭く心配だ。 ・ 中橋は洪水時に心配だ。 ・ 中橋の架け替えには反対である。 ・ 桐生川は川幅が狭くて心配だ。 ・ 旗川、秋山川の堤防を整備してほしい。 ・ 矢場川の河床を掘削してほしい。 ・ 菊沢川の排水を強化してほしい。 ・ 南摩ダムの治水効果はない。
利水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草木ダムの弾力的運用を実効性のあるものに位置付けてほしい。 ・ 今年は雪が少なく、夏の水不足が心配だ。 ・ 上流部の水源林の涵養。 ・ 思川開発事業は不要である。
河川環境に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用されていない河川敷を有効活用してほしい。 ・ 車止めを開放してほしい。 ・ ベンチ、あずまや、トイレ、日陰を整備してほしい。 ・ 利用者のマナー(犬の糞、ゴミなど)が悪い。 ・ 水辺で遊べる場所を作ってほしい。 ・ 公園が整備されすぎている。 ・ サイクリングロードが整備されていてよい。 ・ 階段に手すりを整備してほしい。 ・ 緩傾斜堤防はよい。 ・ 緩傾斜堤防はムダである。 ・ 水際の遊歩道を整備してほしい。 ・ 支川合流部の橋梁を利用を考慮して検討してほしい。 ・ ワンドや河岸の変化で、魚に配慮した整備をしてほしい。 ・ アユやサケがのぼれる川づくりをしたい。 ・ 頭首工の魚道改善。 ・ 中州の樹木を切ってしまうと自然が壊されるのではないか。 ・ カラシナがきれいでありよい。 ・ 水質を改善してほしい。 ・ 水量が少なくなった。水量を増やしてほしい。 ・ 高津戸ダム周辺の環境整備、野鳥観察のための工夫をしてほしい。 ・ 足尾銅山堆積場からの堆積物流入防止。
河川維持に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川敷(特に、田中橋下流左岸水際)の除草をしてほしい。 ・ 除草はボランティアによりできないか。 ・ 除草回数を増やしてほしい。 ・ ゴミが多い。ゴミの処理をしてほしい。 ・ ホームレス対策をしてほしい。 ・ 中州の樹木は切ったほうがよい。 ・ 太田頭首工における堆砂について配慮してほしい。
地域連携・協働等に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ アユやサケがのぼれる川づくりをしたい。 ・ 安全で、安心できる川にしたい。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河岸(かし)の再生と舟の運航をしてほしい。 ・ 街の活性化に繋がるようにしてほしい。

市区町村長の意見の概要

渡良瀬川ブロック

カテゴリ	意見の概要
治水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多発する集中豪雨に対応した川づくりを検討してほしい。 ・ 堤防の安全性が不足している区間について、対策を行ってほしい。 ・ ダムの事前放流により、急激な水位上昇がないようにしてほしい。 ・ 内水排除施設を整備してほしい。 ・ 防災ステーション、防災拠点を整備してほしい。 ・ 計画の高さに満たない堤防を改善してほしい。 ・ 河道の整正をしてほしい。 ・ 東武鉄道から下流の河道を整正してほしい。 ・ 江川橋の架け替えと堤防の整備をしてほしい。 ・ 渡良瀬川、桐生川の無堤部を解消してほしい。 ・ 渡良瀬川、桐生川全川の低水護岸を整備してほしい。 ・ 相川橋上流左岸側の崩落箇所の床固工、護岸工を整備してほしい。 ・ 大間々町神梅地区床固工及び護岸工を早期に完成してほしい。 ・ 東町関守地区の床固工及び護岸工、東町花輪中河原地区の堰堤補強及び床固工を早期着工してほしい。 ・ 危険渓流における土石流、土砂災害の発生が心配である。 ・ 高水敷保護のため、低水護岸の整備を延長してほしい。
利水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渇水期における農業用水の確保に配慮してほしい。 ・ 安定した流量の確保に努めてほしい。
河川環境に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と河川環境が調和した、多自然川づくりを進めてほしい。 ・ 公園利用促進のため、緩斜面堤防の整備を延長してほしい。 ・ 水辺空間利用のため、低水護岸の整備を延長してほしい。 ・ 清流とよべる川にしてほしい。 ・ 水遊びのできる場を提供してほしい。 ・ 親水護岸や遊歩道の設置をしてほしい。 ・ 瀬や淵を設けて、ハビタットを保全してほしい。 ・ 生物生息空間の確保、河畔林の保全をしてほしい。 ・ ゴムボートでのイベントができるよう、河床の整正をしてほしい。 ・ 土砂が堆積し河川環境、河川景観が失われてきているため、美化機能を有する河川整備を進めてほしい。 ・ 桐生川水辺の楽校及び黒川合流部の歩道橋を整備してほしい。 ・ 堤防天端を通学路として利用できるように施設を整備してほしい。 ・ 堤防天端から公共施設へアクセスできる階段及びスロープを整備してほしい。 ・ 渡良瀬川、桐生川両岸の天端舗装、自転車道、歩道を整備してほしい。 ・ 河川環境の整備と保全においては、住民の参画が不可欠である。
河川維持に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見通しが悪い箇所の定期的な除草をしてほしい。 ・ 河川内の通路や進入路において、穴が開いているなど通行の困難な箇所があるため、定期的な補修をしてほしい。 ・ 堤防へ影響があるためカラシナが生長する前に除草してほしい。 ・ 災害の軽減のため、河川情報を迅速に提供してほしい。 ・ 施設整備は国で、維持管理は地元で、というやり方は長続きしない。 ・ 行政と住民による共同作業の維持管理が望ましい。 ・ 自然環境に影響を与えない範囲で、樹木を伐採してほしい。
地域連携・協働等に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄を未然に防止する官民一体のボランティア組織の立ち上げを進めてほしい。 ・ 地域住民や市民団体、関係自治体が共有の認識に基づいて、良好なパートナーシップを築くことが大切である。 ・ 住民のニーズを反映した効果的な水害対策や環境整備など、地域と連携した川づくりを進めてほしい。

【目標設定】

- ・農業利水の変化の見直し等将来予測（人口、土地利用等）を計画の中でどう考えているのか。

【鬼怒川の河床低下】

- ・河床低下及び環境の変化について、原因も含めて示してほしい。
- ・河床低下は上流ダムによって土砂供給が減少したことも要因のひとつである。
- ・河床低下対策として設置する床止については、魚類の移動や産卵場所等にも配慮する必要がある。

【治水】

- ・利根川本川との治水バランスを明確に数値で示し、整備メニューを説明する必要がある。
- ・鬼怒川、小貝川とも河道内の樹林化や植生の変化が課題であり、治水と環境の両面から整理することが必要である。。

【利水】

- ・利水の課題についての記述は原因分析を行うことが必要である。
- ・健全な水循環をより広域的に捉え、鬼怒川、小貝川、利根川、霞ヶ浦の河川間の連携を考えて欲しい。小貝川の課題解決に向けては、水源の手当の検討が必要ではないか。

【環境】

- ・流域下水道の整備の進捗による今後の小貝川の水質の監視が必要である。
- ・鬼怒川の礫河原が減少について、推定される原因を示してほしい。
- ・ダムによる洪水調節によって、河川の攪乱が抑制されたことも環境変化の要因と考えられる。
- ・環境対策は点ではなく、線でお願いしたい。
- ・鬼怒川と小貝川の環境の違いについて強調する必要がある。
- ・鬼怒川の天然遡上鮎復活に向けた対応を水系として捉えていって欲しい。また、効果検証も必要である。
- ・周辺環境との連続性、上下流の連続性、本支川の連続性について考慮してほしい。

【住民との連携】

- ・河川の維持管理には住民との協働が重要であり、具体的な取り組み等について積極的な働きかけが必要。また、ゴミ対策以外のことも記述して欲しい。
- ・一般の方からハザードマップの見方がよく分からないと言われているので、防災教育が必要。また、近年の水害において、高齢者が避難できなかったという実態を踏まえコミュニティの再構築も重要。

【治水】

- ・鬼怒川の河床低下については地層構成についても触れる必要がある。縄文海進時の微細土砂の堆積土が侵食されることにより、急速に河床低下が進むことも考慮に入れておく必要がある。
- ・昭和61年の洪水を体験し、ダムの建設を含めた河川整備が重要であることを認識している。何十年に一遍であろうと人間の命を守るために必要な河川整備は信念をもって実施してほしい。
- ・河川事業はその地域において必要性のあるものを、地域の声を聴きながら整備していくことが必要である。
- ・堤防材料は地域にあったものを活用し、強固なものとして欲しい。
- ・洪水による侵食幅について、最大もしくは侵食される場合があるなど、表現は慎重に行う必要がある。
- ・ダム、調節池、河道それぞれの効果をいかし、バランスのとれた対策とすることが必要である。

【利水】

- ・飲み水や工業用水などの水は当たり前で得られるものだという感覚があるが、ダムの効果についてももっとPRすると共にダム建設の必要性について、関係住民及び流域住民の理解を得ながら進めることが必要。

【環境】

- ・シナダレスズメガヤの侵入と礫河原減少の関係について簡単に触れておくとう分かり易い。
- ・シナダレスズメガヤは礫河原の過酷な環境でも急速に広がる。逆にカワラノギクは5年間で10万株から100株に減少した。こうした急速に減少する貴重な植物には緊急的な対策が必要である。
- ・侵略的な外来生物、絶滅危惧種は河川の生態系の指標として捉えるのがよいと思う。
- ・治水、利水、環境の総合性に欠けているので総合的なプランが見えるようにする必要がある。
- ・治水、利水と環境は矛盾しないものである、やり方をよく考えてほしい。
- ・緊急的な対策が必要な生物の保全にあたり、河川としての取り組みは極めて重要である。
- ・自然環境については、新たな知見に対応できる順応的な取り組みが必要である。
- ・川はかく乱が大事。自然のものだけでなく、人為的なものもあるので、人との関わりも考える必要がある。

【水質】

- ・鬼怒川の水質についてはBODのほか、濁度の問題を盛り込む必要がある。
- ・にごり水が長期間継続するとアユの成長に影響があるので、濁水対策を進める必要がある。
- ・川と海を移動する魚の復活を書き入れてほしい。また、魚にとって重要な淵の再生も検討してほしい。
- ・アユの遡上時期の取水を一日数時間でも少なくして、流量を増やすことも検討してほしい。
- ・霞ヶ浦開発も踏まえた小貝川の水質を考える必要がある。

【その他】

- ・日本の川は1年の殆どが安全で、1週間は洪水で危険。急な出水で逃げ遅れたということもある。子供に対する環境教育は重要だが環境教育だけに特化せず、防災の観点からの教育も非常に重要である。
- ・民俗調査を体系的に源流から下流まで実施してほしい。鬼怒川沿川の住民は洪水の怖さをよくしており、それにまつわる諺、祭りなどが残されている。また、独自の漁法、食文化も調査をし、残してほしい。
- ・これら川に関わる地域と文化の関係を考えた事業の展開を検討してほしい。
- ・有識者会議は、細かい数字ではなく、目標について議論していく。総合的な見方で、他関係機関との連携も検討する必要がある。

住民意見の概要(インターネット・はがき等、公述希望届出書の意見)

鬼怒川・小貝川ブロック

カテゴリ	意見の概要
治水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無堤部の堤防や堤防の浸透対策、強化を行ってほしい。 ・ 河道掘削、潜橋の架替、樹木の撤去を行い流下能力の向上を図る。 ・ 国民の生命財産を守ることが最優先であり、必要であればさらなる遊水地の建設も進めるべき。 ・ 老朽化した樋管の対策、河岸の侵食対策を行ってほしい。 ・ 今後新たなダム建設は行わず、全川で堤防の強化を図るべき。 ・ 環境に影響がある湯西川ダム建設は中止すべき。 ・ 下流住民が、上流のダム建設で協力してくれた方々に感謝の気持ちを持ち続けられるよう継続的施策を行ってほしい。
利水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鬼怒川上流ダム群の連携を強化し、適正な水利用を図るとともに川らしい流量を確保してほしい。 ・ 小貝川の慢性的な水不足解消のため、鬼怒川と連結し鬼怒川から導水を行ってほしい。
河川環境に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川環境や生態系に留意した整備と維持。 ・ カワラノギクなどのような貴重種、希少種、絶滅危惧種などの保全、外来種対策を行ってほしい。 ・ 天然鮎などの魚類が遡上できるよう魚道を整備してほしい。 ・ 水質をさらに改善してほしい。 ・ 公園や遊歩道等の整備及び容易な水辺へのアクセスなどにより河川利用をさらに推進してほしい。 ・ 高齢者や子供に配慮も配慮した施設の整備を行ってほしい。 ・ 河川敷にキャンプ等のアウトドアや水と触れ合える施設を作してほしい。 ・ 水辺の楽校を整備して環境教育の場を作してほしい。 ・ 自然環境保全の啓発、河川愛護及び環境教育の推進。 ・ 水面利用者と他の河川利用者が共存できる環境を作してほしい。 ・ 河川景観を保全してほしい。 ・ 河川敷ゴルフ場は廃止してほしい。 ・ ダムに土砂や濁水を流すバイパスを設置してほしい。 ・ 水運の再生を図り、新しい流通システムの確立による環境負荷軽減。
河川維持に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堤防上の道路は通行を規制してほしい。 ・ 堤防の通行を開放してほしい。 ・ 河川パトロール充実の要望。不法投棄や不法行為の監視要望。 ・ 不審火やゴミ対策、環境保全のため野焼きを実施してほしい。 ・ 河川敷に緊急用の道路を整備してほしい。
地域連携・協働等に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民とのパートナーシップに関し、ハード、ソフトの両面を具体化させてほしい。 ・ 協働した川づくりの推進のため補助や支援を行ってほしい。 ・ 流域の地形や地域の人々の暮らし、生活を紹介してほしい。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備は不要であり、税金の無駄遣いであるので、何もしないでほしい。 ・ 受益者でなく反対派の住民から積極的に意見を聴いてほしい。 ・ 整備計画策定にあたっては、流域の安全を図り利水を確保することが重要。

市区町村長の意見の概要

鬼怒川・小貝川ブロック

カテゴリ	意見の概要
治水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無堤防箇所及び堤防断面不足箇所の堤防整備並びに堤防強化対策を進めてほしい。 ・ 老朽化樋管の早期改築を推進してほしい。 ・ 水衝部対策や河床低下対策を推進してほしい。 ・ 流下能力を向上させるために樹木伐採等を進めてほしい。 ・ 治水上、支障をきたしている橋梁の架け替えを行ってほしい。 ・ 内水排除対策に取り組んでほしい。 ・ 防災ステーションを整備してほしい。 ・ 超過洪水対策として、施設整備や防災体制を確立してほしい。
利水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鬼怒川の十分な流量確保にあたり、既設ダム等の運用並びに湯西川ダムの建設を進めてほしい。 ・ 農業用水の取水障害対策として、河床低下対策を実施してほしい。 ・ 利水の歴史を伝える施設の保存やPRをしてほしい。
河川環境に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の景観や環境保全、湿地の再生や生態系の維持に十分配慮した計画にしてほしい。 ・ シルビアシジミやカワラノギクなどの動植物の保護活動を今後も推進してほしい。 ・ 魚類の遡上・降下を考慮した整備をしてほしい。 ・ 水質の保全並びに改善を進めてほしい。 ・ 水源地域である上流域と中下流域との環境保全事業における連携・支援、啓発活動を通じての交流を促進してほしい。 ・ 自然環境と共生し、川とふれあえる拠点や水辺へのアクセスが容易にできるよう整備（バリアフリーも配慮）をしてほしい。 ・ ジョギングコースやサイクリングロードとしての利用を考慮し、堤防天端道路の連続性を確保してほしい。 ・ 沿川の自然、歴史的文化遺産や地域特性を活かした河川環境の整備を進めてほしい。
河川維持に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄防止対策に力を入れてもらいたい。 ・ 護岸や老朽化施設等の修繕・更新を進めてほしい。 ・ 河道内の土砂撤去や樹木の伐採を実施してほしい。
地域連携・協働等に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民、学校、市民団体、関係機関等との連携、協働を推進してほしい。 ・ 「鬼怒川・小貝川サミット会議」を活用し、いっそうきめ細やかな地域連携の充実を推進してほしい。 ・ 災害時に関係機関や住民との双方向コミュニケーションの仕組みづくりを推進してほしい。 ・ 自然や文化、歴史などに理解と関心を持ってもらえるような河川愛護活動を展開してほしい。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水源地域ダム周辺活用交流事業の創設推進を図ってほしい。 ・ 過去の大水害の記憶を風化させないために広報活動を推進してほしい。 ・ 堤防管理用通路について、地域の利便性も考慮して整備してほしい。

【関係住民の意見聴取の考え方】

- ・ 専門家だけでなく一般住民からも意見を聞く機会を設けて欲しい。
- ・ 住民からの要望（自治体からの要望）を整理したものを提示して欲しい。

【治水】

- ・ 波浪対策の手法は、離岸堤だけに限定することなく前浜造成による対策なども検討すべきである。

【環境】

- ・ 治水や環境等の各事業の結果はそれぞれ独立ではなく、常にトレードオフの関係にある。この理念を計画の中に盛り込んで欲しい。
- ・ 植生再生の目標を設定した根拠を明確にして欲しい。
- ・ 植生は多ければ良いというものではなく、維持管理していく事も重要である。

【その他】

- ・ 整備計画の基本理念に霞ヶ浦の特徴を表現すべきである。
- ・ 計画を見直す際の条件を明記して欲しい。出来れば定期的な見直しを望む。
- ・ 経済評価を詳細に行う事は困難と思うので、アバウトで良いので今後示して欲しい。
- ・ 県、市町村、土地改良、漁業等が霞ヶ浦に望んでいる事は何かという客観的な情報が欲しい。

【治水】

- ・ 治水の目標としている治水安全度の表現で、「百年に一度の洪水」は一般には理解し難い。また、誤解を与える恐れがあるため、分かりやすい説明を工夫したほうが良い。

【環境（水質）】

- ・ 水質浄化に関しては、茨城県の湖沼水質保全計画と整合を図って欲しい。
- ・ 水質浄化の目標に対する流域及び湖内で取り組むメニューを明確にし、連携して取り組むべきである。

【環境（植生等）】

- ・ 霞ヶ浦が既に担っている首都圏への水供給という役割により、今後新たな水位のコントロールは困難であるという現状を踏まえて環境に関する理念や目標を設定して欲しい。
- ・ 「豊かな湖へ」は漁業者の願いでもある。常陸川水門については、魚類の行き来がしにくくなっており、水産の観点だけでなく、環境の観点としても魚道は必要である。

【その他】

- ・ 住民の意見は多様化しており、全てに応える事は出来ない。多くの人が望んでいる要求に応える整備計画とする事が現実的ではないか。
- ・ 目標や理念などの方向性は、委員全員が合意することは困難であり、同意が得られる程度と思う。
- ・ 整備計画は、現時点で固定出来ないメニューもあるはずである。技術の進歩等に対し、柔軟に対応できるように順応的な計画となるようにしてもらいたい。また、将来的に予測不可能な事にも対処できるように記述するべきである。
- ・ 霞ヶ浦流域が昔に比べて開発が進み、利用されている現状を踏まえて整備計画を作成して欲しい。

住民意見の概要(インターネット・はがき等、公述希望届出書の意見)

霞ヶ浦ブロック

カテゴリ	意見の概要
治水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な居住環境維持のため波浪対策が必要。 高水位に対応する護岸の補強工事が必要。 護岸縁が洗掘されていて、子供などが転落すると危険。緩傾斜堤の整備を望む 旧予科練の斜路施設は、保存を求める。 霞ヶ浦水位の速やかな低下を図るため、常陸川水門に排水機場の設置を提案する。
利水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 常陸川水門により塩害の防除を図る。魚道整備は、利水の観点から細心の検討と対策を望む。塩分管理を徹底してほしい。 地球温暖化により異常気象、水不足などの問題が多発。霞ヶ浦の水が首都圏一帯の住民たちに必要とされる時がいつか必ず訪れる。水環境の整備を行ってほしい。
河川環境に関する意見	<p>[水質に関する意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ浦の水質浄化について、水道水源としての安全性が求められている。水質改善について啓発を行うこと(化学物質対策・テロ対策) 今後の底泥浚渫について、魚の回遊促進のためにも、全面浚渫を望む。 湖内湖浄化施設の整備の拡大を求める。 北浦が水質悪化の傾向にある。底泥対策、霞ヶ浦導水からの浄化用水の導水などの緊急的な水質浄化対策をしてほしい。 霞ヶ浦導水事業について、効果は期待できないため反対である。 <p>[湖岸植生に関する意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> 前浜造成及び水生植物帯の造成を望む。また、造成地の保護と流失防止のため消波施設等の設置も同時に行う事を要望する。 <p>[利用拠点に関する意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の憩いの場、子ども達が遊べる場の整備を望む。 <p>[魚道整備に関する意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> 常陸川水門に早期に魚道を設置してほしい。
河川維持に関する意見	<p>[水位管理に関する意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> 農水への影響を考慮のうえ、水質改善のため常陸川水門の開放を望む。 ヨシの流出により魚の産卵場所が喪失したり、農地の維持が困難なため、管理水位を下げてほしい。 <p>[ゴミ対策に関する意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> 流入河川から流れてくるゴミを減らすため、霞ヶ浦に流入する前、流入ゴミを処分して欲しい。 既存のヨシ原の投棄ゴミには目を被いたくなる。水質浄化と並行して水際の清掃を制度立てて取り組むこと <p>[その他河川維持に関する意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> アオコ対策を行ってほしい。 消波施設について、粗朶が腐食、流失し、消波の役を果たさない現況にある。砕石やブロック等の投入を含めた処置を願いたい。
地域連携・協働等に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 流域住民が河川管理者に協力するパトロール隊を組織できれば、ゴミ投棄の予防に役立つと考える。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> 地域の観光、レジャー資源としての霞ヶ浦という観点で有効利用が必要。 外来種の調査・対策をしてほしい。

市区町村長の意見の概要

霞ヶ浦ブロック

カテゴリ	意見の概要
治水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 波浪対策堤防の整備を早期に実施してほしい。 ・ 低平地の内水被害の軽減対策の検討し実施してほしい。 ・ 旧海軍スロープ跡地の築堤にあたっては、当スロープの利用が盛んなことから、スロープの保存、活用を考慮して頂きたい。 ・ 堤防等構造物の耐震性を向上してほしい。 ・ 水防拠点の整備については、整備してほしい。また、整備にあたっては周辺環境にも配慮し、平常時は公園利用できるように整備をしてほしい。
利水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 霞ヶ浦開発の安定供給のため、適正な管理を行ってほしい。 ・ 霞ヶ浦導水事業の推進により、利水の安定供給を図ってほしい。 ・ 霞ヶ浦・北浦は、水道水源であり貴重な資源である。安定した水量の確保と浄化に取り組んでほしい。 ・ 霞ヶ浦、北浦から農業用水を利用していることから、今後も利活用できるような水の確保を維持してほしい。
河川環境に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 霞ヶ浦の水質改善に向けて、各方面での一層の努力が必要。流域としては、生活排水処理等の取り組みを実施していきたい。湖内においては、積極的な対策を実施してほしい。 ・ 霞ヶ浦の底泥浚渫を推進してほしい。 ・ 霞ヶ浦導水事業を推進してほしい。 ・ 北浦の浄化対策として底泥対策の実施、霞ヶ浦導水からの浄化用水の導水の検討を実施してほしい。 ・ 霞ヶ浦に流入する河川の汚濁物質をウェットランドを整備してほしい。 ・ 湖岸植生帯の保全再生事業を推進してほしい。 ・ 前浜造成事業をさらに推進してほしい。
河川維持に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湖岸に打ち上げられるゴミ対策は、地域と連携を図り対応をして頂きたい。清掃大作戦等の一環として河川管理者、住民と協働のもとゴミの除去、河川美化を引き続き協力していきたい。 ・ アオコ対策を実施してほしい。
地域連携・協働等に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 霞ヶ浦は地域の財産で万人のものであると認識。あらゆる主体が連携し、協働する取組みのための体制づくりが不可欠である。

【概要】

- ・流域の概要には以下の事項についても記載してほしい（水源、緩勾配、流路変遷、地形、干潮区域、水質等）

【治水】

- ・計画高水流量の設定で流域対策を見込んでいるのであれば、その分担量を記載すべきである。
- ・現在の治水安全度1/5以下が、今後どのように1/30になるのか段階ごとに、目で見えるとわかりやすい。

【環境】

- ・治水、利水、環境が、それぞれ別々に記載されているが、治水対策での河道掘削も広げ方を工夫すれば水質や自然生態系対策にもなる場合がある。同じ工事でも治水対策、環境対策などの両方の目的が達成されるということを河川整備の基本的な考え方にしっかり入れておくと良い。
- ・江戸川河川事務所では、以前より自然環境に関する委員会を設け議論しているものがある。それらの結論もこの計画に反映し生かすべきである。
- ・河川法改正により、従来の治水計画だけでなく、環境や利水への配慮がどうなされているのかわかるような計画にしてほしい。

【水質】

- ・水質改善対策として、総合治水の貯留施設を、水質の悪くなる非灌漑期に浄化施設として利用できないか。
- ・水質改善対策として、ワンドを水際に造って、浄化に活用できないか。

【利水】

- ・河道掘削による塩水の遡上の影響、地下水位への影響がないか検討が必要である。

【目標設定について】

- ・治水、水質は評価の基準、目標が示されているが、環境は理想的である。
- ・動植物の現状を評価したうえで、将来の目標を立てるべき。

【本文の記載の例について】

- ・治水の沿革に明治43年洪水、カスリーン台風についても記載すべき。
- ・河岸場、渡し場が多くある。これらの歴史的な景観を整備の際に再生を図ってはどうか。
- ・中川・綾瀬川流域は、人工的にできたもの。流域形成の過程を記述すべき。
- ・排水の悪い地域をどのように市街化してきたか流域の開発の経緯を記述すべき。
- ・過去の水質対策の効果を示し、これを生かして今後の計画を記述すべき。
- ・治水、利水、環境が別々記載されているが、どこかでこれを一体的に記述すべき。

【その他】

- ・河道掘削による元荒川、古利根川の農業用取水堰への影響検討が必要である。
- ・湛水量分担計画で想定している農地の許容湛水（水深）を示してほしい。
- ・水質、環境についても、治水と関連付けてシステムティックにまとめるべき。
- ・掘削の深さ、河畔の植生が魚に影響を及ぼす。落ち葉、付着藻類、護岸の草の有無で魚種の多様性が大きく異なる。これまでの調査で数値的な根拠も得られている。参考にして欲しい。
- ・低水の水収支、水質の汚濁源の調査結果があれば示してほしい。（本文に示せなくても、囲み記事扱いに入れてもよいのでは。）
- ・使える資料（データ）はなるべく使う。資料がなければ、調査していく方向を示すべき。
- ・浸水実績について、S33.9洪水での実績が、どのような対策によって、現在同規模洪水で浸水区域が減ったかを示すべき。さらに、整備計画後に浸水区域がどうなるか示すべき。
- ・川と住民の係わりについての観点が必要。住民が河川整備にどう係わるかが、地域づくりにも影響する。
- ・国、地元自治体、住民の連携が必要。コーディネート的な部分は、NPO等とも協力して行っていく必要がある。

住民意見の概要(インターネット・はがき等、公述希望届出書の意見)

中川・綾瀬川ブロック

カテゴリ	意見の概要
治水に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域を確実に安全にするために、従来にない高規格な堤防の構築を要望する ・ 見沼区宮下に遊水地を整備してほしい ・ 綾瀬川の改修予定断面の拡幅、早期着工を希望する ・ 流出抑制対策を推進してほしい ・ 整備計画にも、現在流域で進めている総合治水対策と同様に、河川と流域の雨水分担量を明確に位置付けてほしい ・ 中川の治水安全度を高め、現行の堤防位置を低水路側に変更せず、河積の拡大に努めてほしい
河川環境に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今ある河川周辺の自然生態系を保全してほしい ・ 自然の拠点作りと良質な環境が繋がる回廊となるような自然の創出をしてほしい ・ 河川の利用に際しては、野生生物もすすめるようなゾーニングをしてほしい ・ 次世代に身近で豊かな自然環境が残るよう要望する ・ 親水化のための水辺環境の改善と水質浄化に対し配慮してほしい ・ 貴重な自然が残っている場所は残してほしい ・ 見沼区宮下の遊水地に一部ピオトープを整備してほしい ・ 水質改善のために、河川の浄化施設、合併浄化槽の整備、流域住民の意識改革、環境学習等のハード面、ソフト面の対策を講じてほしい ・ 護岸を生き物にやさしいものにしてほしい ・ 自然を取り戻すために、ワンド、ラグーン、ピオトープ等の整備をしてほしい ・ 多自然型川づくりを強力に推進してほしい ・ 中川の環境保全を進めるため、現行の堤防位置を低水路側に変更せず、河積の拡大に努めてほしい
河川維持に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川敷等にゴミ捨て禁止看板、生物の種類わかる説明看板等のPR看板を設置してほしい ・ 綾瀬川に1級河川表示板を設置してほしい ・ 不法投棄がなくなるように推進してほしい ・ 堤防に遊歩道をつくり、地域の人が散策ができるようにしてほしい ・ 住民が水辺に近づける河川整備をしてほしい
地域連携・協働等に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 綾瀬川にイベント等出来る親水広場等を整備してほしい ・ 魚、鳥、野草、水辺の里親制度等を希望する
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八条橋を架け替えてほしい(古くて狭い、渋滞する) ・ 河川整備計画について、NPO等も参加できる場を設けてほしい ・ 工事該当場所周辺の自然調査と、調査の結果を反映して工事をしてほしい

市区町村長の意見の概要

中川・綾瀬川ブロック

カテゴリ	意見の概要
治水に関する意見	<ul style="list-style-type: none">・ 中川最上流部の整備(調節池、河道改修)が早期完成するよう計画してほしい【県区間】・ 首都圏外郭放水路を綾瀬川まで区間延長してほしい・ 護岸整備、河道内浚渫等の対策を早期に行ってほしい・ 浸透対策事業を促進してほしい
河川環境に関する意見	<ul style="list-style-type: none">・ 綾瀬川において、親水施設の設置、水質改善等、更なる河川環境の整備を行ってほしい・ 憩いの場を提供する形の河川整備をしてほしい。・ 水質改善の継続と、支川の河川浄化施設に対して支援してほしい
その他意見	<ul style="list-style-type: none">・ 人々が集い、水辺にふれあえる川づくりを進めてほしい・ 人と川とのふれあいについて、更なる取組をしてほしい